

水戸市地域福祉計画（第3次）重点施策に関する事業の進捗状況等について（報告）

○事業の進捗状況把握調査

地域福祉計画（第3次）の重点施策に関わる事業（目標指標事業、重点施策関連事業）の進捗状況の調査（令和2年12月28日現在）を実施しました。その結果の概要は下記のとおりです。内容の詳細については、3ページ以降を御覧ください。

1 調査結果の概要

(1) 重点施策と目標指標 ※詳細はP3～P6を参照。

重点施策1

地域住民による交流づくりの推進

地域のつながりを再び強め、「ともに支えあう地域づくり」を推進するためには、支えあいのきっかけとなり、地域住民同士のつながりを深める**地域住民による交流づくり**が必要です。

このため、地域住民の交流を促進し、地域住民同士の顔が見える地域づくりを進めます。

目標指標	実績（見込み） 令和2年12月28日現在	評価	目標値 2023（令和5）年度
地域いきいきコミュニティーク （みとの福祉を考える座談会の後継事業）	5地区 延べ6回	進捗した	継続 〔2020（令和2） 年度実施〕
隣近所との付き合いの程度があいさつを交わすより深い関係であると回答する市民の割合（市民アンケート）	調査実施なし	—	60.0%

重点施策2

連携体制づくりの推進

市が受ける福祉相談も、複合的な問題が多く、これらに対して柔軟な対応が求められていることから、本市の**庁内各部署における連携体制づくりを推進**します。

また、市と地域で活動する**関係団体やNPO法人、民間企業等との連携体制づくりを推進**し、互いに協力しながら助けあう相談支援体制の構築を図ります。

目標指標	実績 令和3年2月28日現在	評価	目標値 2023（令和5）年度
庁内連携体制の構築（（仮称）我が事・丸ごと連絡協議会の発足及び運営）	会議体の設置 取扱件数1件	進捗した	継続 〔2020（令和2） 年度発足〕
目標指標	実績（見込み） 令和2年12月28日現在	評価	目標値 2023（令和5）年度
安心・安全見守り隊参加団体・事業者数	185団体	現状維持	190団体

重点施策3

福祉のこころを育む人づくりの推進

福祉に関わる人づくりの基礎となる**福祉のこころを育む人づくりを推進**し、福祉に対する意識の醸成を図るとともに、様々な地域福祉活動を継続的に実施できるよう、地域福祉を担う人たちの活躍の場の拡充に努めます。

目標指標	実績（見込み） 令和2年12月28日現在	評価	目標値 2023（令和5）年度
ボランティアセンターにおけるボランティア登録数	個人 144人 団体 103団体	現状を維持できなかった	個人 200人 団体 150団体
地域活動やボランティア活動などの支援活動に参加しており、今後も参加したいと回答する市民の割合（市民アンケート）	調査実施なし	—	20.0%

目指す姿：すべての人がともに支えあい助けあう 地域共生のまち・水戸

基本方針 1 とともに支えあう地域づくり

基本施策 1 地域住民による交流づくりの推進

<具体的施策>

- 【1】地域コミュニティ活動の推進
- 【2】地域交流の促進
- 【3】市民との協働の推進

評価	事業数
進捗した	13事業
現状維持	6事業
現状を維持できなかった	10事業
廃止した	0事業
未評価	2事業

基本施策 2 人にやさしい福祉環境づくりの推進

基本施策 3 暮らしやすいまちづくりの推進

基本方針 2 多様な福祉課題に対応した支援体制づくり

基本施策 1 相談支援体制の充実

基本施策 2 連携体制づくりの推進

<具体的施策>

- 【1】行政における連携体制の強化
- 【2】地域における連携体制の推進

評価	事業数
進捗した	11事業
現状維持	14事業
現状を維持できなかった	5事業
廃止した	0事業
未評価	0事業

基本方針 3 地域福祉を担う人づくり

基本施策 1 福祉のこころを育む人づくりの推進

<具体的施策>

- 【1】地域福祉に対する意識づくりの推進
- 【2】福祉ボランティアの育成・支援

評価	事業数
進捗した	9事業
現状維持	9事業
現状を維持できなかった	10事業
廃止した	0事業
未評価	2事業

基本施策 2 福祉に携わる人材の確保・支援

水戸市地域福祉計画（第3次）重点施策事業調査票

事業主体名	水戸市社会福祉協議会				
主な事業 の内容等	事業名	いきいきコミュニティトーク			
	事業内容	平成 27 年度から 29 年度に実施した「水戸の福祉を考える座談会」の後継事業として、令和 2 年度から 5 年度にかけて、地域課題の共有から、解決に向けて具体的行動に展開できるような話し合いの場とする。			
	問題点・課題	生活支援体制整備事業による協議体とより良い連携を図り進めていく。地域の強みからのストレングスアプローチ（諸問題（虐待、貧困、家庭内暴力、精神的な病など）について、個々の家庭を訪問し、家族とともにこれらの問題の解決を支援していくファミリーサポートサービス）の手法により、課題解決と新たな地域資源開発に取り組むことで、前向きな話し合いの場となるよう展開する。			
	令和元年度	決算額	円	件数・回数等 (実績)	
	令和 2 年度	予算額	0 円	件数・回数等 (見込)	5 地区 延べ 6 回
	自己評価	A : 進捗した B : 現状維持 C : 現状を維持できなかった (該当箇所を○で囲んでください。)			
	自己評価理由	令和 2 年度からの新規事業のため、支部と話し合い、準備を重ね、取り組むことができた。			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大 ・ 継続 ・ 縮小 ・ 廃止 ・ 未定 (該当箇所を○で囲んでください。)			
備考					

水戸市地域福祉計画（第3次）重点施策事業調査票

課名	高齢福祉課				
主な事業の内容等	事業名	安心・安全見守り隊			
	事業内容	地域団体や民間事業者に協力いただき、日々の活動や業務の中で気づいた「支援を要する方の異変」や「道路の陥没等の異常」を市に連絡していただき、その連絡をもとに市が対応するという「ゆるやかな見守り」を実施			
	問題点・課題	発足時から加入団体は大幅に増加しているものの、実際に当該活動に係る通報をしてくれる団体は特定の団体に偏っているなど、形骸化している部分があり、より実効的に活性化していく必要がある。			
	R元年度	決算額	0円	参加団体・事業者数 (実績)	180団体
	R2年度	予算額	692,030円	参加団体・事業者数 (見込)	185団体
	自己評価	A：進捗した <input checked="" type="radio"/> B：現状維持 C：現状を維持できなかった (該当箇所を○で囲んでください。)			
	自己評価理由	当該事業は通報等により安否確認に繋がる等一定程度の効果がある。形骸化している部分について見直しを進めているところである。			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大 ・ 継続 ・ 縮小 ・ 廃止 ・ 未定 (該当箇所を○で囲んでください。)			
備考	事業の見直しについて、活動の活性化を図るため、見守り隊のコンセプトを維持しつつ、既存の見守り活動等の取組み等との効率性や一体性を持たせた仕組みづくりを検討し、関係団体と協議を進めている。				

水戸市地域福祉計画（第3次）重点施策事業調査票

事業主体名	水戸市社会福祉協議会				
主な事業 の内容等	事業名	ボランティアセンターの運営			
	事業内容	市民のボランティア活動の拠点となるボランティアセンターの運営を行い、ボランティア活動参加促進を図る。			
	問題点・課題	ボランティア活動者の高齢化により活動団体の存続が難しいため、新たな人財の発掘、育成に力を入れていく。			
	令和元年度	決算額	円	ボランティア 登録者数 (実績)	個人 150名 団体 104団体
	令和2年度	予算額	円	ボランティア 登録者数 (見込)	個人 144名 団体 103名
	自己評価	A：進捗した B：現状維持 <input checked="" type="radio"/> C：現状を維持できなかった (該当箇所を○で囲んでください。)			
	自己評価理由	ボランティアの高齢化等の理由により、サークルの廃止、休止が増えている。新しい人財・資源開発が、それを上回っていない。			
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大 ・ 継続 ・ 縮小 ・ 廃止 ・ 未定 (該当箇所を○で囲んでください。)			
備考					

水戸市地域福祉計画（第3次）重点施策事業調査票

課名	福祉総務課				
主な事業 の内容等	事業名	水戸市複合的福祉課題対策会議（連携体制づくりの推進）			
	事業内容	複合的な福祉課題への対応を検討するための包括的な連携体制を構築し、課題の解決に向けた支援等を行う。			
	問題点・課題	実際の運用はこれからとなるが、当会議において、これまで解決することが困難だったケースなどを扱い、課題解決の方向性を決定し、関係課で連携しながら、迅速な支援につなげていくこと。			
	令和元年度	決算額	— 円	取扱件数 (実績)	—
	令和2年度	予算額	— 円	取扱件数 (令和3年2月28日現在)	1件 ※令和3年2月1日会議体設置
	自己評価	A: 進捗した B: 現状維持 C: 現状を維持できなかった (該当箇所を○で囲んでください。)			
	自己評価理由	庁内連携体制づくりとして、水戸市複合的福祉課題対策会議の設置及び運営のための諸準備を行い、会議を開催することができた。			
	今後の方向性	A: 進捗した B: 現状維持 C: 現状を維持できなかった (該当箇所を○で囲んでください。)			
備考	本年度は庁内連携体制づくりの枠組を決定し、来年度以降、本格的な運用を図っていく。また、今後、庁外の連携体制づくりも見据えながら、内容等について関係団体等と協議していく。				

基本方針1 とともに支えあう地域づくり

基本施策1 地域住民による交流づくりの推進

具体的施策1 地域コミュニティ活動の推進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域コミュニティ活動の活性化	住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動の推進	進捗状況	市民生活課	34地区会に対し、地域活動推進事業補助金の支出。	34地区会に補助金を支出し、地域コミュニティ活動を支援した。	現状維持	補助金を支出し、地域コミュニティ活動を支援したため。	現状維持	
	町内会加入に向けた取組の推進	町内会加入率	市民生活課	・住みよいまちづくり推進協議会町内会・自治会加入促進委員会の開催。 ・社団法人茨城県宅地建物取引業協会、水戸市住みよいまちづくり推進協議会及び水戸市で、町内会・自治会加入促進に係る協定を締結。 ・町内会・自治会の加入促進をテーマとした市民懇談会の開催。 ・第一生命保険株式会社との連携事業として、町内会・自治会加入に関するアンケートの実施。 ・みとの魅力発信課と連携して、町内会・自治会に関するインターネットモニターアンケートの実施。	町内会・自治会加入促進委員会で加入促進に係る検討を行った。 具体的には、4つの施策(宅建協会との三者協定、町内会カード、アンケートの実施、広報の強化)について検討を行った。特に、三者協定を締結し、加入取次依頼書を活用することにより、申込後、町内会長から連絡がいく仕組みに加入の流れを変更した。	進捗した	三者協定の締結、アンケートの実施、市民懇談会の開催のほか、町内会カードの導入に向けた検討が進んだため。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度)
	地域リーダー研修会等の開催	参加者数	市民生活課	令和2年度地域リーダー研修会は、コロナ感染予防のため、中止。	研修会は中止とした。	現状を維持できなかった	研修会を実施できなかったため。	現状維持	
	地域コミュニティプランによる事業の促進	進捗状況	市民生活課	令和2年度地域コミュニティプラン推進研修会は、コロナ感染予防のため、中止。	研修会は中止とした。	現状を維持できなかった	研修会を実施できなかったため。	現状維持	
	社会福祉協議会34支部を対象とした「みとの福祉を考える座談会」後継事業の開催(いきいきコミュニティトーク)	開催地区数	社会福祉協議会	コミュニティトークの開催 5地区(柳河地区、双葉台地区、赤塚地区、寿地区、城東地区) 参加者数 延べ132名	5支部でコミュニティトークを開催。H27~H29水戸の福祉を考える座談会での検討結果を振り返り、改めて地域課題を共有する。また、地域の強みからのストレングスアプローチの手法により、課題解決と新たな地域資源開発(人材育成や地域で取り組める活動の創出)に取り組んだ。	進捗した	令和2年度からの新規事業のため、支部と話し合い、準備を重ね取り組むことが出来た。	拡大	

基本方針1 とともに支えあう地域づくり

基本施策1 地域住民による交流づくりの推進

具体的施策1 地域コミュニティ活動の推進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域コミュニティ活動の活性化	支部長連絡会議の開催	開催数	社会福祉協議会	支部役員会議 8回 支部長連絡協議会役員会 1回 支部長連絡協議会 2回(うち1回書面)	8ブロック幹事支部長による支部長連絡協議会役員会, 及び34支部を対象にした支部長連絡協議会(全体会)に加え, 定期的に8ブロック毎の支部長会を開催した。3~5支部の小さな単位での支部長の会議とし, 活発な意見交換の場とした。	進捗した	定期的なブロック毎の支部長会を開催したことで, 課題の共有, 支部活動の情報交換が支部活動の活性化につながった。	現状維持	
	支部役員研修会や交流会の開催	参加者数	社会福祉協議会	各ブロック第2層協議体 開催数 26回 参加者数 延べ328人 支部役員研修会等 開催数 4回 参加者数 延べ104人	「生活支援体制整備事業」との連携により, 各ブロック毎の協議体の場に, 支部役員の参加を要請し, 地域課題の共有と解決に向けた場とした。	進捗した	各ブロック毎の協議体の場に, 参加いただいたことで, 地域課題に目が向き, 課題解決に向けて前向きな話し合いの場となった。また, そのような話し合いから, 地域に見合った内容の勉強会・研修会が自発的に提案され, 開催を実現した支部もあった。	現状維持	

基本方針1 とともに支えあう地域づくり

基本施策1 地域住民による交流づくりの推進

具体的施策1 地域コミュニティ活動の推進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域コミュニティ活動の活性化	支部活動に対する支援	支援内容	社会福祉協議会	支部活動助成金交付 34支部 13,329,200円 共催事業やサロン実施内容など、各種活動内容についての協議	<p>会員会費収入の50%を支部活動交付金として交付。</p> <p>支部役員会に、担当職員が出席するとともに、事業等についての協議に参加した。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、活動を一部変更、延期、中止するなどせざるを得ない状況であった。感染症対策を講じ、出来ることを支部とともに協議し、出来る範囲での活動を行った。また、支部長会議や交流会が支部活動に良い影響となり、促進につながった。</p>	進捗した	<p>新型コロナウイルス感染症対策により、活動を一部変更、延期、中止するなどせざるを得ない状況であったにも関わらず、感染症対策を講じて、出来る範囲での支部活動となった。</p>	現状維持	
地域コミュニティ活動環境の充実	市民センター総合管理計画に基づく長寿命化型改修	改修済数	市民生活課	長寿命化型改修工事(緑岡, 寿) 長寿命化型改修実施設計(三の丸) 移転改築工事(千波)	総合管理計画に基づき工事及び実施設計を行った。	進捗した	計画に基づき事業を実施できたため。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 国土強靱化地域計画
	市民センターの機能充実	進捗状況	市民生活課	トイレ改修(1箇所) 備品更新(パイプ椅子, テーブル, 卓球台)	施設の機能充実を図るためトイレ改修工事及び備品の更新を行った。	進捗した	老朽化した設備及び備品を更新できたため。	現状維持	
	市民センター内コミュニティルームの活用	進捗状況	市民生活課	地区会等の地域コミュニティ団体の会議等の場所として提供。	地域コミュニティ団体の活動の場を提供したことで、団体の活動の支援が図れた。	現状維持	これまでと同様の利用であったため。	現状維持	

基本方針1 とともに支えあう地域づくり
 基本施策1 地域住民による交流づくりの推進
 具体的施策2 地域交流の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域交流拠点の活用	子育て支援・多世代交流センターやいきいき交流センター等の活用促進	進捗状況	高齢福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の休館のため、ほぼ実施出来ない状況である。	地域団体等への部屋貸	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の休館のため。	現状維持	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
			子ども課	大町子育て支援・多世代交流センターわんぱく・みと 利用者数 36,479人(令和元年度) 本町子育て支援・多世代交流センターはみんぐぱく・みと 利用者数 41,007人(令和元年度)	子育て支援・多世代交流センターをはじめ、公共施設、保育所、認定こども園等に乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業や各種イベントが休止となり、利用者数が減少した。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 第2期子ども・子育て支援事業計画(2020～2024年度)
	市民センター等における地域交流を創出する活動の実施	活動内容	市民生活課	地区会へのコミュニティルームの提供。地域コミュニティプラン実現に向けた支援。	地区会へのコミュニティルームの提供のほか、地域コミュニティプラン実現に向けた支援を通して、地域交流の機会を作っている。	現状維持	これまでと同様の利用であったため。	現状維持	
地球における交流機会の充実	わんぱく・みと、はみんぐぱく・みとを核とした子育て支援・多世代交流の推進	進捗状況	子ども課	子育て支援・多世代交流センター 2か所 利用者数 83,213人(令和元年度) ぽかぽかつどいの広場 1か所 利用者数 5,732人(令和元年度) 子育てぽかぽか広場 2か所 利用者数 689人(令和元年度) 市民センター子育て広場 26か所 利用者数 7,290人(令和元年度)	子育て支援・多世代交流センター(わんぱく・みと、はみんぐぱく・みと)を核として、地域の子育て支援施設と連携を図りながら、多様な子育て支援・多世代交流を推進していく。	現状を維持できなかった	開設か所数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業や各種イベントが休止となり、利用者数が減少した。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 第2期子ども・子育て支援事業計画(2020～2024年度)
	いきいき交流センター等における多世代交流の促進	進捗状況	高齢福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の休館のため、ほぼ実施出来ない状況である。	多世代交流サロンの実施	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の休館のため。	現状維持	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本方針1 とともに支えあう地域づくり
 基本施策1 地域住民による交流づくりの推進
 具体的施策2 地域交流の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地球における交流機会の充実	市民センター子育て広場における子育て支援の推進	開設数	子ども課	市民センター子育て広場 26か所 利用者数 7,290人(令和元年度)	自治会や女性会などの地域団体が主体となり、子育て中の親子が交流する広場を運営しており、地域のボランティアが見守りを行っている。市では、親子が遊ぶ遊具などの購入費用について、団体に補助している。	現状を維持できなかった	開設か所数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業や各種イベントが休止となり、利用者数が減少した。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 第2期子ども・子育て支援事業計画(2020～2024年度)
	いきいき交流センター等におけるサロンの開催	開催数(延べ) 参加者数(延べ)	社会福祉協議会	葉山荘 10回 60名 長者山荘 新型コロナウイルス感染症対策により休止	いきいき交流センターでのサロン開設により、センター利用の促進と、多世代交流を含めた事業展開を図る。	現状を維持できなかった	コロナ禍により、事業の休止、または利用の制限を行わざるを得ず、昨年度に比べ、更なる展開に至らなかった。	拡大	
	身体障害者スポーツ・レクリエーション大会の開催	参加者数	障害福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	早々に中止を決定したため、取組みなし。		実施していないため、評価不可。	現状維持	
	ふれあいのひろばへの支援	進捗状況	障害福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	早々に中止を決定したため、取組みなし。		実施していないため、評価不可。	現状維持	
	市民センター等における各種講座や教室の開催	開催数(延べ) 参加者数(延べ)	高齢福祉課	延開催数 953回、延参加者数 10,465名	元気アップ・ステップ運動、シルバーリハビリ体操、いきいき健康クラブ、脳の健康教室等の実施。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため、活動を一時休止したため。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
			生涯学習課	開催数:13,124回 参加者数:208,651人 (R1年度実績)	市民センター(一般教養講座) 開催数:856回 参加者数:50,774人 (教室) 開催数:1,217回 参加者数:14,147人 (クラブ) 開催数:10,964回 参加者数:141,184人 みと好文カレッジ講座 開催数:87回 参加者数:2,546人	現状を維持できなかった	新型コロナ感染症対策により、市民センター等の利用及び事業を中止したため。	拡大	水戸市第6次総合計画(2014～2028年度) 水戸市生涯学習推進基本計画(第4次)(2016～2023年度)

基本方針1 とともに支えあう地域づくり

基本施策1 地域住民による交流づくりの推進

具体的施策2 地域交流の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地球における交流機会の充実	愛パーク祭の開催	参加者数	社会福祉協議会	コロナ感染予防のため「愛パーク祭」を変更し、「愛パークマルシェ」を実施。 実施日:9/25(金) 10/23(金) 11/27(金) 12/25(金) 12:00～15:00	近隣の地域住民を対象に、感染症対策を施しながらパン、クッキー、野菜、花苗、手芸品等の自主製作品を小規模に販売。 愛パーク祭中止による地域住民との関係維持を図った。	進捗した	地域にチラシを配布し足を運んでくれる住民が増えてきた。	拡大	
	子育てサロン(子育て中の親等)及びふれあいサロン(高齢者・障害者)への支援	開設数及び支援数	社会福祉協議会	高齢者サロン 58件(R2度 新規 2件)・28件 667,500円助成 障害者サロン 6件(R2度 新規 0件)・1件 15,000円助成 子育てサロン 1件(R2度 新規 0件)・1件 15,000円助成 12/2 東部ブロックサロン交流会の開催 16名参加(サロン運営者7名を含む)	地域の人達がお互いに支えあいながら生活することのできる仲間づくりの場の新設を支援する。また、継続的な運営支援をする。	進捗した	コロナ禍に、運営を休止するサロンに助言、支援し、新たなサロン設置に向けた相談支援を行った。	拡大	

基本方針1 とともに支えあう地域づくり

基本施策1 地域住民による交流づくりの推進

具体的施策3 市民との協働の推進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	令和2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
市民との協働による福祉事業の推進	協働マニュアルの活用	進捗状況	市民生活課	職員研修などで活用。	協働推進員の研修資料として協働マニュアルを配布した	現状維持	各部署・職員に一定の理解が図れた。	現状維持	水戸市協働推進基本計画(第2次)
	協働事業提案制度わくわくプロジェクトの実施	実施事業数	市民生活課	実施(協定済)事業数 6件	障害福祉, 介護福祉部門などの協働事業を実施している	現状維持	制度活用により行政・地域課題の解決が図れた。	拡大	水戸市協働推進基本計画(第2次)
	ボランティア活動やNPO活動の促進	進捗状況	市民生活課	協働事業数 122件 ※年度末に調査するため前年度実績を記載	水戸市協働推進基本計画(第2次)の各施策を進める中で協働事業を実施している	進捗した	協働事業での取り組みにより行政・地域課題の解決が図れた。	拡大	水戸市協働推進基本計画(第2次)
	市役所本庁舎における「こみっとルーム」の活用	進捗状況	市民生活課	市民活動団体の活動の場として活用。	WebページやPRチラシなどでこみっとルームの広報活動を行った	現状維持	市民活動団体への活動支援が図れた。	現状維持	水戸市協働推進基本計画(第2次)
	産・学・官連携事業の推進	連携事業数(累計)	政策企画課	380件(令和元年度実績) ※令和2年度の実績については, 令和3年6月頃にとりまとめる予定	新たに水戸ヤクルト販売(株)と包括連携協力に関する協定を締結したほか, 現在, 複数の団体と協定締結に向けた調整を行っている。	進捗した	連携事業数(累計)が平成30年度の349件から増加しているため。	拡大	3か年実施計画(2021年度～2023年度) 水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2次)
NPO等による福祉活動に伴う情報ネットワークの構築	こみっとフェスティバルの開催	参加者数	市民生活課	出展団体数 34団体 ※R3.2.21開催予定のため出展団体数を記載	イベント開催に向けて実行委員会での協議を重ねている。	進捗した	出展団体数が増加した。	拡大	水戸市協働推進基本計画(第2次)
	WEBサイトこみっと広場の運営	登録団体数	市民生活課	登録団体数 97団体	市民活動団体が積極的に活動の情報発信を行えるよう, 市民活動情報Webサイト「こみっと広場」の運営を行っている。	進捗した	登録団体数が増加した。	拡大	水戸市協働推進基本計画(第2次)

基本方針2 多様な福祉課題に対応した支援体制

基本施策2 連携体制づくりの推進

具体的施策1 行政における連携他姓の強化

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
複合的な福祉課題に対する連携の充実	個別検討会議の実施	取扱件数	生活福祉課	支援調整会議を1回行った。(協議した自立支援計画の対象者は11名)	自立相談支援機関の作成した住居確保給付金の受給者らに対する自立支援計画の検討及び共有を行った。	現状を維持できなかった	コロナ禍により住居確保給付金の申請が増大したことから個別の自立支援計画の作成が困難となったため。	拡大	3か年実施計画(2020～2022年度)
			障害福祉課	7回(毎月第3水曜日に定期開催, 4月・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	障害者(児)に係る支援困難ケースについて, 水戸市障害者生活支援センターと個別事例検討会を実施。	現状維持	例年とおりの内容のため。	拡大	
			高齢福祉課	・高齢者支援センターが実施する地域ケア個別会議において抽出された地域課題の情報収集。 ・12月23日に高齢者の抱える課題として, ごみ出し支援をテーマとして, ごみ減量化, 清掃事務所, 福祉関係機関, 住民の代表等を交えた意見交換会を実施。	・集約した地域課題を基に, 市全域の課題, 日常生活圏域の課題別に, それぞれ協議の場を設け, 課題解決に向けた協議を実施する。 ・ゴミ出し支援について, 意見交換の内容を踏まえ, 取り組みを進められる内容を整理し, 課題解決に向けた協議を進める。	進捗した	ごみ出し支援について関係課を交えた協議を実施したため。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
			子ども課	要保護児童及びDV対策地域協議会個別ケース検討会議開催 22回	対象ケースに関する情報共有と今後の支援体制の確認を行っている。	現状維持	コロナ禍においても随時, 会議を開催することができているため。	現状維持	
横断的な連携の充実	庁内連携体制の構築((仮称)我が事・丸ごと連絡協議会の発足及び運営)	進捗状況	福祉総務課	・全課に複合的な福祉課題等に関する調査実施。 ・水戸市複合的福祉課題対策会議設置(令和3年2月1日) ・第1回会議開催(令和3年2月26日)	今後, 会議を通じ, 関係課が連携しながら, 複合的な福祉課題への対応を行っていく。	進捗した	水戸市複合的福祉課題対策会議設置および運営のための諸準備を行った。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度)
	民生委員児童委員活動支援連絡会議の運営	進捗状況	福祉総務課	支援方策として, 関係部署に民生委員担当者となる「活動支援員」を配置し, 民生委員児童委員が気軽に相談できる体制を整備している。また, 平成30年に配付した「民生委員児童委員活動支援のためのガイドライン」について中核市移行による改訂作業を行っている。	気軽に民生委員児童委員が関係部署あて連絡がとれるよう, 「連絡票」を作成し, 配付した。ガイドラインの改訂については, 既存掲載項目及び新規掲載項目について, 民生委員児童委員及び関係部署から意見を募り, 内容の見直しを図っている(令和3年3月完成予定)。	進捗した	連絡票を活用し民生委員児童委員の活動支援につなげているため。	拡大	
	要保護児童及びDV対策地域協議会の運営	取扱件数	子ども課	・代表者会議開催 1回(書面開催) ・実務者会議開催 10回(うち1回は書面開催) ・個別ケース検討会議開催 22回 ・オレンジリボン&パープルリボンキャンペーン実施	・各種会議開催による情報共有や今後の支援体制の確認を行っている。 ・クリアホルダーやカード, ライトアップ等による児童虐待防止及びDV防止の啓発を行っている。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から, 会議開催やキャンペーンを行ったが, 例年とおりの実施には至っていない。	現状維持	第2期子ども・子育て支援事業計画(2020～2024年度) DV対策基本計画(2016～2020年度)

基本方針2 多様な福祉課題に対応した支援体制
 基本施策2 連携体制づくりの推進
 具体的施策2 地域における連携体制の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域における活動団体との連携	社会福祉協議会及びシルバー人材センターとの連携	進捗状況	福祉総務課	市からの委託等により、地域福祉推進、相談支援事業や高齢者・障害者・生活困窮者・子どもの支援、福祉施設の管理運営など行っている。 シルバー人材センターとの連絡調整会議の開催。	市社協が策定した地域福祉活動計画と市の地域福祉計画の連携により、コミュニティーク等の事業を実施し本市の地域福祉を推進している。 事業計画や予算を確認するとともに、今後の課題について情報を共有した。	進捗した	地域福祉推進のため新たな事業を展開している。 今まで実施していなかった連絡調整会議を開催したため。	現状維持	
	民生委員・児童委員との連携	進捗状況	福祉総務課	理事会を開催し、行政からの連絡事項や依頼事項を伝えるとともに、情報交換を行っている。また、地区の定例会に福祉事務所の職員が出席し、連携を深めている。	月1回の理事会及び各地区定例会(8月を除く)において、民生委員児童委員と福祉事務所の職員の情報交換や協議の場を設け、事業推進のための意思疎通を図っている。	現状維持	感染症予防のため会議が開催できないときは、資料を配付するなどの方法で、連携協力体制を補完しているため。	現状維持	
	保健推進員及び食生活改善員との連携	進捗状況	地域保健課	現状の協力体制の促進を図った。	市事業に関する周知等の協力を受け、地域における活動の支援を実施した。	現状維持	良好な協力体制を維持しているため。	現状維持	水戸市健康増進・食育推進計画(第2次)
	関係団体、NPO法人、民間企業等との連携	進捗状況	障害福祉課	水戸市地域自立支援協議会	関連の障害福祉事業所の相談員等が、各専門部会に所属し、課題や情報の共有や、協議を実施。 ※専門部会……相談支援、こども、生活・就労、障害福祉サービス事業所、地域生活支援の5部会	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響により、定例会や全体会(関係機関との協議の場)を開催できなかったが、専門部会と各専門部会長、社協と障害福祉課が報告、協議を行う事務局会議は、会場休止期間以外で、協議等を実施することができた。 協議会の体制を見直す検討、協議を行っている最中である。	現状維持	
			高齢福祉課	市シルリハ体操指導士の会へ業務委託	シルリハ体操教室の実施	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため、活動を一時中止したため。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本方針2 多様な福祉課題に対応した支援体制
 基本施策2 連携体制づくりの推進
 具体的施策2 地域における連携体制の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域における活動団体との連携	関係団体, NPO法人, 民間企業等との連携	進捗状況	子ども課	<ul style="list-style-type: none"> 子育てぽかぽか広場(子育て支援団体等) 2か所 子ども食堂(NPO法人等) 8か所 要保護児童及びDV対策地域協議会構成機関との連携(児童虐待防止関係NPO法人, DV被害者支援関係NPO法人) ホームフレンド事業における連携(DV被害者支援関係NPO法人) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域において, 子育て中の親子が交流できる広場を民間団体が主体となり, 運営している。 市内で開催している子ども食堂について周知活動などの支援をしている。 要保護児童及びDV対策地域協議会の代表者会議, 実務者会議における情報共有等を行っている。 ホームフレンド事業による個別ケースに対する連携支援を行っている。 	現状維持	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら, 事業の連携が図られたため。	現状維持	三か年実施計画(2021~2023年度) 第2期子ども・子育て支援事業計画(2020~2024年度) DV対策基本計画(2016~2020年度)
専門的な知識を持つ方等との連携	市医師会物忘れ相談医や認知症疾患医療センター等との連携	進捗状況	高齢福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 市医師会物忘れ相談医及び認知症疾患医療センターの周知。 認知症初期集中支援の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談や市民向け講座の実施, 認知症の早期受診等に伴う連携。 認知症初期集中支援チーム員会議を定期的に開催。 	現状維持	昨年と同様のため。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	若年性認知症支援コーディネーターと認知症地域支援推進員との連携	進捗状況	高齢福祉課	知識啓発のための研修会を実施予定。	若年性認知症の現状を把握し, 相談支援に繋げる。	進捗した	コーディネーターと推進員の連携が見込まれるため。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	地域ケア個別会議によるネットワークの構築	進捗状況	高齢福祉課	コロナ禍において開催件数は減少しているが, 年間計画に基づき継続して実施している。	各高齢者支援センターにおいて継続して開催する。	現状維持	継続実施により, 地域に定着してきている。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	県介護支援専門員協会との連携によるケアプラン点検の実施	進捗状況	介護保険課	ケアプラン点検事業者所:19事業所	茨城県介護支援専門員協会との連携のもと, 居宅介護支援事業所のケアプランについてヒアリングを実施し, 改善指導を行う。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症を理由による実施の中断をしたため。	現状維持	第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2018~2020年度) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(2021~2023年度)

基本方針2 多様な福祉課題に対応した支援体制

基本施策2 連携体制づくりの推進

具体的施策2 地域における連携体制の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
地域見守り・支えあいネットワークの推進	安心・安全見守り隊やSOSネットワークの拡大	協力者数	高齢福祉課	参加団体:182団体	・協力団体等について随時参加勧奨 ・参加団体に対し、実績報告等を送付	現状維持	取組が一定程度継続できている。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	在宅見守り安心システムの活用の促進	進捗状況	高齢福祉課	設置世帯数 582世帯	市HPや「広報みと」に掲載し市民に広く周知。	現状維持	昨年と同様のため。	現状維持	3か年実施計画(予定) (2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画(予定)
	生活支援配食サービスの推進	利用者数	高齢福祉課	利用者数 68人 延配食数 9,383食	市HPや「広報みと」に掲載し市民に広く周知。	現状維持	昨年と同様のため。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	愛の定期便事業の推進	配布本数	高齢福祉課	配布本数 44,043本	民生委員の見守り活動の際、必要性のある世帯に利用を促している。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため、活動を一時中止したため。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
避難行動要支援者への支援体制の構築(再掲)	避難行動要支援者名簿の活用	登録者数	福祉総務課	災害時に自力で避難することが困難な避難行動要支援者について、支援を希望する方の名簿を作成している。また、管理システムにより随時名簿の更新を行っている。 名簿登録者数3,634人	今年度新たに対象要件に該当した方へ案内を送付(12月下旬)し、広報紙および市HPに制度案内を周知した。また、民生委員による訪問調査の報告に基づき、名簿の更新を行っている。	進捗した	登録者が昨年度に比べ約1割増加したため。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度)
	災害時の避難支援体制づくりの推進	進捗状況	福祉総務課	避難行動要支援者名簿を作成し、警察、民生委員などの避難支援等関係者と連携して、支援体制づくりを行っている。	警察、民生委員等とも避難行動要支援者名簿を共有し、支援体制を整えている。	現状維持	例年通りの事業は実施できたが、各支援者による連絡会議開催の段階には至っていないため。	拡大	

基本方針2 多様な福祉課題に対応した支援体制

基本施策2 連携体制づくりの推進

具体的施策2 地域における連携体制の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
避難行動要支援者への支援体制の構築(再掲)	福祉避難所の運営	進捗状況	防災・危機管理課	新型コロナウイルスに感染の恐れがある状況下における避難所運営に関する指針を策定し、緊急避難所等の受入施設を増やした。	感染リスクの高い高齢者の入居する高齢者施設を福祉避難所として開設することがないよう、ホテル、旅館等の活用や緊急避難所の増設を行った。	進捗した	コロナ禍の避難所運営について対策を講じているため。	現状維持	水戸市地域防災計画
在宅医療サービスの充実	切れ目ない在宅医療・介護の提供体制の構築	進捗状況	高齢福祉課	医療提供施設等グループ化:3グループ	・在宅利用に取り組む医療機関等の連携強化 ・在宅医療を提供する連携体制として必要な拠点機能を担う取組み ・在宅利用についての普及啓発活動等の取組み	進捗した	県医師会と協力し、市内関係機関のグループ化が図られた。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	ICTを活用した情報共有体制の構築	進捗状況	高齢福祉課	医療・介護関係者の情報共有支援を目的としたICTシステムの試験運用を実施し、正式導入を決定。	システムの参加を促すため、医療機関等に出向き、ヒアリングを実施。	進捗した	試験運用の効果検証を経て導入の決定。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	在宅医療の理解促進及び普及啓発	進捗状況	高齢福祉課	高齢者支援センターによる、住民、事業所等への普及啓発の実施。	人生会議の考え方を踏まえ、在宅医療についての周知啓発を講座等により開催。	現状維持	住民等のニーズに基づき継続開催している。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
生活支援体制整備の推進	生活支援コーディネーターによる地域との連携	進捗状況	高齢福祉課	日常生活圏域ごとに協議の場を設置、地域課題について多様な主体での協議を実施。	生活支援コーディネーターを中心に、高齢者支援センターや事業所、住民等を交え、地域課題解決に向けた協議を実施。	現状維持	協議の場の設置ができているが、具体的な取り組みの創出に向けた更なる取り組みを継続する必要がある。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本方針2 多様な福祉課題に対応した支援体制

基本施策2 連携体制づくりの推進

具体的施策2 地域における連携体制の促進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
生活支援体制整備の推進	新たな支援(サービス)の創出の推進	進捗状況	障害福祉課	地域生活支援拠点 ワーキンググループ 5回開催	地域生活支援拠点の機能について、市内の事業所等とのワーキンググループ(意見交換)を実施。	進捗した	令和3年度の実施に向けた方針が確認できたため。	現状維持	水戸市第5期障害福祉計画・水戸市第1期障害児福祉計画
			高齢福祉課	・まちいすプロジェクトの発足 ・サロンの立ち上げ ・水害被災地区に向けたアンケートの実施	・地域住民が気軽に集える場、外出時の休憩の場として、住民等の協力によりベンチを設置する活動。 ・水害被災者に対し、困りごとを把握することを目的としたアンケートを実施。	進捗した	協議の場を設置できたことにより、具体的な取り組みが創出されてきている。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本方針3 地域福祉を担う人づくり

基本施策1 福祉のこころを育む人づくりの推進

具体的施策1 地域福祉に対する意識づくりの推進

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
こころの教育の推進	道徳教育や人権教育の推進	進捗状況	総合教育研究所	各学校において道徳の授業や人権課題に関する教育の充実を図るための指導・助言を行った。道徳教育では、副読本「道徳まごころ」を新しくなった教科書の年間指導計画に位置付けた授業実践を推進した。また、市内全小中学校において、人権擁護委員による「人権教室」を計画したが、一部実施を中止した。	各学校において道徳の授業や人権課題に関する教育の充実を図る。 ・ローテーション道徳のによる授業力の向上 ・人権に関する講演会の開催	現状維持	新型コロナウイルス感染症対策のため活動が制限された。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度)
	小中学校と特別支援学校等との交流の実施	進捗状況	総合教育研究所	県立特別支援学校3校で合計4名の児童が水戸市内4小学校で交流活動を実施した。	特別支援学校との連携を図り、児童生徒と障害児との交流の機会を提供するため、市内の小中学校において居住地校との交流を図る。	現状維持	新型コロナウイルス感染症対策のため活動が制限された。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度)
	手話・点字・要約筆記体験教室の開催	参加者数	社会福祉協議会	手話体験教室 延べ参加者数 27名 要約筆記体験教室 延べ参加者数 7名 点字体験教室 延べ参加者数 13名	手話・点字・要約筆記等の体験を通して、視覚・聴覚等の障害について理解促進を図るとともに、新たなボランティア人材を育成する。 実際に障害をお持ちの方、それを支援するボランティアの方々を講師に迎え、両方の立場から講義をいただいた。	進捗した	各教室の定員を例年よりも少なく設定するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催した。	現状維持	
	福祉用具等フリー体験の実施	参加者数	社会福祉協議会	福祉体験「車いす体験をしよう」(mito子どもボランティア隊) 延べ参加者数 11名	福祉用具を使用した体験は、市民の要望(日時・場所等)に応じて、機会を設けている。	現状維持	コロナ禍ということもあり、例年に比べ問い合わせが少なかった。	現状維持	
	ボランティアまつりにおける福祉体験の実施	参加者数	社会福祉協議会	新型コロナウイルス感染症対策により中止。	毎年、多くの市民、ボランティア及び関係団体にご参加を頂き、ボランティア活動について広く広報するとともに、ボランティア活動参加促進を図る場において、体験の場を設けている。	現状を維持できなかった	多くの市民が集まる場なので、コロナ禍での開催は難しいと判断し、中止とした。	拡大	
ノーマライゼーションの普及・啓発	家族教室の開催	参加者数	障害福祉課	0回 (令和3年3月8日に予定:市保健所)	早々に中止を決定したため、取組みなし。		実施していないため、評価不可。	現状維持	
	障害者差別解消法に関する講演会	参加者数	障害福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	早々に中止を決定したため、取組みなし。		実施していないため、評価不可。	現状維持	
性的マイノリティに関する正しい理解の促進	市民、事業者向け研修会等の実施	参加者数	男女平等参画課	未実施	令和3年2月5日に火災予防課との共催で、事業所向け研修会を実施予定である。また、関係団体との共催で、市民向けの講演会も企画している。	現状維持	令和2年度からの新規事業であるが、コロナ感染症の影響により、実施できていないため。	拡大	水戸市男女平等参画推進基本計画(第3次)(2020~2023)

基本方針3 地域福祉を担う人づくり

基本施策1 福祉のこころを育む人づくりの推進

具体的施策2 福祉ボランティアの育成・支援

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
子どもの福祉ボランティアに対する支援	児童・生徒によるボランティア活動の実施	進捗状況	総合教育研究所	水戸まごころタイム等において、ボランティア教育の充実を図るための指導・助言を行った。	募金活動、被災地への支援活動、地域の清掃活動、施設への訪問、水戸漫遊マラソンボランティアなど各学校の実態に応じて実施。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症対策のため活動が制限された。	現状維持	3か年実施計画(2021～2023年度)
	中学生に対する認知症サポーターの養成	進捗状況	高齢福祉課	7校で実施予定だったが中止。	なし	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を中止したため。	未定	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	こどもボランティア隊の結成	参加者数	社会福祉協議会	登録人数 14名 ・車いす体験 延べ参加者数 11名 ・赤塚駅南口クリーン作戦 延べ参加者数 14名 ・街頭募金 延べ参加者数 13名 ・市動物愛護センター見学 延べ参加者数 11名	次世代のボランティア人財の育成を図る。ボランティア活動の幅広さを体験いただくことで、ボランティアの重要性、必要性を理解いただくとともに、将来のボランティア活動のきっかけとなることを期待する。	進捗した	新型コロナウイルス感染症対策により、例年に比べ、体験講座数が少なかったが、限られた回数の中で、参加児童の興味を与えることができた。	拡大	
福祉に関する各種講座の開催	認知症サポーターの養成	養成人数	高齢福祉課	244名	市民、市職員等を対象に養成講座開催。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため、開催回数が減少したため。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	介護予防の取組を担う住民ボランティアの育成講座の開催	参加者数	高齢福祉課	なし	なし	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を中止したため。	拡大	3か年実施計画(2021～2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本方針3 地域福祉を担う人づくり

基本施策1 福祉のこころを育む人づくりの推進

具体的施策2 福祉ボランティアの育成・支援

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
福祉に関する各種講座の開催	高齢者生活支援サポーター養成研修の開催	参加者数	社会福祉協議会	延べ参加者数 22名	水戸市内において、高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために実施される、掃除、洗濯、買い物等日常生活を支援するサービス(生活支援サービス)の担い手を養成する。	進捗した	養成講座を実施することで、事業の必要性をご理解いただくとともに、サービスの担い手としての必要な知識を習得していただいている。また、受講生の一部は総合事業を行う団体につなげることができた。	現状維持	
	意思疎通や移動支援に係る奉仕員の養成講座の開催	参加者数	障害福祉課	手話奉仕員養成講座参加人数 入門 6名 基礎 5名 点訳奉仕員、要約筆記奉仕員、移動支援奉仕員の養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	手話奉仕員養成講座のみ途中まで実施(新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より遅れて開始した上、会場の休止により途中で中止せざるを得なくなった。)	現状を維持できなかった	意思疎通支援に係る奉仕員養成講座のうち、手話奉仕員以外の養成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 手話奉仕員養成講座についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より遅れて開始した上、会場の休止により途中で中止せざるを得なくなった。	現状維持	
	市民後見人の養成	市民後見人の人数	高齢福祉課	2人	市民後見人養成講座修了生向けのフォローアップ研修を実施。	進捗した	今年度初めて県央地域で選任されたため。	拡大	3か年実施計画(予定) (2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画(予定)
	ボランティア養成講座等の開催	参加者数	社会福祉協議会	・夏休み体験教室 学ぼう盲導犬(アイメイト) 7組14名参加 ・園芸ボランティア養成講座 14名参加 ・園芸ボランティア養成講座 フォローアップ研修 10名参加 ・園芸ボランティア養成講座 フォローアップ研修 2名参加	気軽にできる活動を通して、居場所づくりやボランティア活動のきっかけとした。最終的には、ボランティアサークルとして継続的な活動を期待した講座である。	進捗した	ボランティアサークル立ち上げに向けた、フォローアップ研修の実施に至り、今後継続的な活動に向けて、協議中である。	現状維持	

基本方針3 地域福祉を担う人づくり

基本施策1 福祉のこころを育む人づくりの推進

具体的施策2 福祉ボランティアの育成・支援

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
福祉ボランティア活動の支援	福祉ボランティア会館による活動支援	支援内容	福祉総務課	ボランティア相談の実施, ボランティアセンターだよりの発行, ボランティア活動関連ホームページ更新, ボランティアサークル等研修会の開催した。	指定管理者の水戸市社会福祉協議会と連携しながら, ボランティアに関するニーズ把握・相談・広報啓発・情報提供やボランティア各種講座等の開催などを行い, ボランティアの振興を図った。	現状維持	新型コロナウイルス感染症に伴い, 実施できない事業があったが, その補完として, 広報啓発・情報提供などに積極的に取組んだ。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度)
	認知症サポーターの活動支援	進捗状況	高齢福祉課	認知症サポーター同士の情報交換, 知識や地域での支援方法を習得。	認知症サポーター養成講座修了者を対象に, ステップアップ講座を開催。	進捗した	ステップアップ講座の拡充が図られたため。	現状維持	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	元気アップ・ステップ運動サポーターやシルバーリハビリ体操指導士としての活動支援	進捗状況	高齢福祉課	高齢者の通いの場の担い手として活動。	元気アップ・ステップ運動教室で職員の補助又は運動指導を実施。 地域でリハビリ体操の普及及び実技指導を実施。	現状を維持できなかった	新型コロナウイルス感染症予防のため, 活動を一時中止したため。	拡大	3か年実施計画(2021~2023年度) 水戸市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	ボランティアセンターの運営	登録数	社会福祉協議会	・登録ボランティア(団体103・個人144人) ・災害ボランティア(団体2・個人43人)	市民のボランティア活動の拠点となるボランティアセンターの運営を行います。ボランティア活動参加促進を図ります。	現状を維持できなかった	ボランティアの高齢化等の理由により, サークルの廃止, 休止が増えていいる。新しい資源開発が, それを上回っていない。	拡大	
	ボランティアに関する相談や紹介	対応数	社会福祉協議会	716件	ボランティアに関するニーズ把握, 相談, 情報提供を行います。	現状を維持できなかった	コロナ禍ということもあり, 例年に比べ問い合わせが少なかった。	拡大	
	ボランティア連絡協議会への支援	支援内容	社会福祉協議会	水戸市ボランティア連絡協議会の正副会長会議, 役員会, 県央ボランティア連絡会運営委員会の運営を支援。	地域で活動するボランティアグループがお互いに連携し, 心のふれあいまちづくりを目指し, 充実したボランティア活動の推進を図ることを目的とした, 連絡協議会の運営を支援する。	現状維持	コロナ禍において, どのように活動すべきかを役員会等で検討した。	現状維持	

基本方針3 地域福祉を担う人づくり

基本施策1 福祉のこころを育む人づくりの推進

具体的施策2 福祉ボランティアの育成・支援

施策名	主な事業	調査項目	担当課	R2年度実績(R2.12.28現在)	具体的な取組	自己評価	評価理由	今後の方向性	他計画での位置付け
福祉ボランティア活動の支援	ボランティアサークル等に対する活動支援	支援内容	社会福祉協議会	サークル交流会「水戸市歴史散策」の開催。	ボランティア・ボランティアサークル間の交流の活発化を図ることで、それぞれの活動活発化へつなげる。	現状維持	ボランティア・ボランティアサークル間の交流を目的に交流会を実施した。	現状維持	
福祉ボランティアに関する情報の提供	ボランティアまつりinミオスの開催	参加者数	社会福祉協議会	新型コロナウイルス感染症対策により中止。	毎年、多くの市民、ボランティア及び関係団体にご参加を頂いている。ボランティア活動について広く広報するとともに、ボランティア活動参加促進を図っている。	現状を維持できなかった	多くの市民が集まる場なので、コロナ禍での開催は難しいと判断し、中止とした。	拡大	
	ボランティアセンターだより発行(年4回)	各発行数	社会福祉協議会	ボランティアセンターだより 発行(年4回) No.185~No.188	水戸市社会福祉協議会広報紙「みんなのしあわせ」とともに、ボランティアセンターだよりとしてボランティアの活動を紹介するなど、情報発信に努めている。また、FacebookやHPからの広報に努めた。	現状維持	特にFacebookやHPからの広報に努めた。	現状維持	
	各種メディアの活用(ホームページ・SNS)	閲覧数, フォロワー数	社会福祉協議会	・Facebook(フォロワー数) 559 (閲覧総数)33,288 ・ホームページ(閲覧総数) 138,342	ホームページ, Facebookを活用し、各種事業の情報提供, 事業活動の報告を行っている。特に新型コロナウイルス感染症関連では、感染予防対策に伴う施設利用の際の注意喚起, 特例貸付制度の案内など迅速な情報提供に努めた。	進捗した	コロナ禍での事業中止が相次ぎ、取材記事が少ない状況にあった。	拡大	
	ボランティアサークル活動パネル展の開催	参加者数	社会福祉協議会	7/7~8/16 ボランティアサークルパネル展(水戸市福祉ボランティア会館) 56サークル参加	それぞれのボランティアサークルの活動について紹介する場としている。	現状維持	コロナ禍もあり、来場者が少なかった。	拡大	
NPO等による福祉活動に伴う情報ネットワークの構築	こみっとフェスティバルの開催	参加者数	市民生活課	出展団体数 34団体 ※R3.2.21開催予定のため出展団体数を記載	イベント開催に向けて実行委員会での協議を重ねている。	進捗した	出展団体数が増加した。	拡大	水戸市協働推進基本計画(第2次)
	WEBサイトこみっと広場の運営	登録団体数	市民生活課	登録団体数 97団体	市民活動団体が積極的に活動の情報発信を行えるよう、市民活動情報Webサイト「こみっと広場」の運営を行っている。	進捗した	登録団体数が増加した。	拡大	水戸市協働推進基本計画(第2次)

水戸市複合的福祉課題対策会議（連携体制づくりの推進）の設置

地域福祉計画（第3次）の重点施策に位置付けのある、「市内連携体制の構築」として、新たに、「水戸市複合的福祉課題対策会議」を設置しました。令和3年2月に会議を行い、複合的な福祉課題に対して、関係部署と情報共有するとともに、継続的な支援体制について確認しました。

今後、これらを通じて、ひきこもりや虐待、ダブルケアの問題などの課題が絡み合い引き起こしている複合的な福祉課題に対し、関係部署が情報を共有し、取り組む支援策の方向性を決定し、市民への迅速な支援につなげてまいります。

